

令和六年十一月二十日

保坂文哉

傾聴……こちらが主体的に話をするのではなく相手の話を聞いて相手の気持ちを理解し寄り添う事を言います。最近では被災地のボランティア等でも取り入れられている行いです。

同事(行)……自と他の境界を越えて相手の立場になってより
そう事。

修証義、四章発願利生

「自他は時に随うて無窮なり、海の水を辞せざるは同事なり、是故に能く水聚まりて海となるなり。」

(自分と他人はどちらが先ということではなく、時によって自由自在であるべきであり、海は色んな所からくる川の水をなんでも分け隔てなく受け入れて一つになっている、それによって海となります。)